

社会福祉法人
 八千代市身体障害者福祉会 会報
 発行責任者：磯崎 節 男
 編集：阿部 裕 一
 事務所：八千代市米本 2429-10
 TEL 047-488-8813
 FAX 047-488-8384
 印刷所：はばたき職業センター
<http://hukushikai.com>

一九七七年十二月日第三種郵便物認可
 二〇二三年五月十六日発行（毎月十八日発行）二・三・五・六・七の日発行
 SSKP通巻八二二七号

はばたき

福祉会・

はばたき
 職業センター
 5つの誓い

1. 私たちは、一人はみんなのために、みんなはひとりのために働きます。（支え合いと連帯）
2. 私たちは、どのような環境のもとでも、その人らしい生き方を認め、可能性を信じ、その能力を育む努力を続けます。（生きがいと可能性の追及）
3. 私たちは、いつでもどこでも誰もが安心して暮らせる地域社会をめざします。（心豊かな社会の創造）
4. 私たちは、社会の一員として自ら考え、行動し、前向きに生きる開拓者をめざします。（開拓者としての心得）
5. 私たちは、生命の尊さ・個人の幸せを求めつつ、社会に貢献することをめざします。（幸福の追求と社会貢献）



“笑顔のつどい”ではみんなで身体を動かそうと「ポッチャ大会」を行いました。その結果は……
 （詳細は3面に掲載）

悠々堅歩

“オーラ（こんにちは）
 皆さん元気ですか！”

たのしいスペイン語サークル
 代表 佐々木 寛

現在、月2回スペイン語圏出身の講師と共に基本的な会話、作文、文法を学びながら各自のトピックを発表したり、スペイン語の歌を全員で歌ったり、楽しい雰囲気での学習を進めています。又、スペイン語文化と触れ合うためにスペインや中南米関連のイベントを見学したり、センター祭りで日本でも人気のあるスペイン語の歌を披露したりしています。スペイン語は世界21ヶ国で話され、スペイン語を母国語としている人口は中国語に次いで世界で2番目に多い言語です。サークルに所属している会員もスペイン語圏との関わりを持つ方々も少なくありません。その中には中南米で仕事に携わった人、両親の仕事の関係で生活の拠点が中南米であった人、スペインに語学留学した人、家族がスペインで生活されている人等等です。しかも講師が南米出身の方なのでサークルに所属していると様々なスペイン語文化に触れることが出来、スペイン語圏の国々への好奇心が自然と湧いてきます。八千代市にはスペイン語圏の方々を含む多くの外国人が生活しています。将来的にはサークルとしてスペイン語圏の方々と交流が生まれることを期待します。個人的には社会貢献活動に目を向け、高齢者施設への音楽活動千葉県内での外国人観光案内、日本語講師民生委員等のボランティア活動に参加している会員もいます。語学サークルとして個人でも、団体としても地域に関心を持って活動していきたいと考えています。

高次脳機能障害者 & 中途失聴者の “つどい”立ち上げに向けて!

住み慣れた地域でのコミュニケーションや助け合いなどが希薄化する中で、更にここ数年の新型コロナウイルスが追い打ちをかけるように人と人との交流などを減らしています……。

令和 5 年きらめき支援センターでは障害に特化して、同じような悩みや不安を抱えている障害当事者の方々と一緒に新たな『交流の場』を立ち上げようとしています……。

● 高次脳機能障害

始めに高次脳機能障害とは、どのような障害なのでしょう? 脳梗塞や脳出血、事故などの頭部外傷による後遺症のことにあります…… 脳の損傷が原因で記憶力、注意力、計画的に物事に取り組み能力や意欲が低下したり、感情のコントロールができにくくなったりする状態を高次脳機能障害と呼んでいます。この障害は、外見からではわかりにくいため、周囲から理解が得られにくく本人やご家族は戸惑い、さまざまな不安を持つなど共通した悩みを抱えています…… また思いがけないケガや病気などによって本人はもとより、ご家族も戸惑います……。

高次脳機能障害を正しく理解し、適切な対応などをとることが重要になってきます。

【不安や悩みは……】

個々の症状から不安や悩みはそれぞれ異なると思いますが、同じ障害のある仲間とともに語り合い、経験談などを聞いたり、話したりすることによって、不安などの軽減や解決などに向けられればと考えます。

● 中途失聴

幼少期から聞こえづらい人や突発性難聴、老人性難聴または事故や薬の副作用などが原因によって聞こえが不自由になることです。そして、その障害の程度も千差万別になります。不自由さや社会での生きづらさも外見からでは分かりにくいこととなります。突然のことであれば、なおさら本人も、家族も悩みます。

【不安や悩みは……】

中途失聴者・難聴者ならではの困りごとは多々あります…… 困りごとも個々それぞれになります。これは、どのようなことなのでしょう? 音声言語を習得してから失聴した方は発話には問題はなく、基本的に手話は使用せず、通常に話すことができている人が多いようです。これは成人してから失聴しているため、それまでの聞こえている生活の中で身につけた発音ができているからです。ただし、話せるので、聞こえていると思われれることも多々あるようです。他にも、聞こえないことから手話ができると思われがちになります。また世の中が聞こえないことが前提となって生活している

ため、様々な問題も出てきます。特に緊急時の案内やイレギュラー案内、災害時などではスピーカーからアナウンスされるため、時に命の危険にさらされることも考えられます。

【コミュニケーション方法は?】

『口話』…… 相手の口の形から内容を読み取る方法です。口元が良く見えるように、一文字一文字ハッキリと話すことが必要です。ジェスチャーなどを交えること更に伝わりやすくなると思います。

『筆談』…… メモ用紙やノートなどを使って文字による意思疎通になります。話している内容を全て書くことは難しいので、必要な情報を簡潔に書きます。口話やジェスチャーを交えること更に効果的になります。

『翻訳アプリ・字幕』…… デジタル機器の進歩により正確に、速く情報伝達ができるようになっており、中途失聴者でもコミュニケーション方法の一つとして利用できます。

○それぞれの「つどい」

高次脳機能障害者や中途失聴者のつどい開催に向けては会場などが整い、本紙および広報やちよに掲載し、参加者を募る予定にしています。その際は是非ご参加ください。

※問い合わせ



はばたき 歳時記

* 園芸科草花情報

はばたき職業センター園芸科ではたくさんの草花を育成栽培しています。絶賛販売中です。福祉センター前や八千代台ユアエルの他、施設でも直売していますのでお気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。(販売については天候などにより中止になる場合があります。詳しくは047・488・8813までお問い合わせください。)

ペチュニア	100円
マリーゴールド	100円
ベゴニア	120円
インパチエンス	120円
マツバボタン	120円
サルビア	120円
一子一子ソウ	150円
ガゼリア	150円

(全品税込価格)

* はばたきの「生活介護事業」

昨年度から新たに生活介護事業を展開しています。一言で「生活介護事業」といっても、入浴・食事等介護サービスを中心としたものから、作業などの日中活動を中心として活動しているものなど各事業所において幅広い内容で展開されています。

はばたき職業センターでは、午前・指先のリハビリにも繋がる封入等作業中心、午後・ゲームや創作活動等を実施しています。体調と相談しながら週2日程度から利用される方が多いです。

ご希望の方には見学等対応致します。

TEL 047・4885・1245
TEL 047・4885・1245
FAX 047・4885・8822

（社福）八千代市身体障害者福祉会
きらめき支援センター

4月の足跡

◇ 令和5年度活動開始!

【輝く未来会】

4月17日(月) 最初の活動は年間スケジュール決めから始まりました。参加者個々から思い思いの希望を伺い、全体の活動として取り入れられるか等を話し合い、方向性を出しました。やはり楽しみは外出! それまで自身のスキルアップに励みましよう……。

【書道講座】

4月27日(木) 第一回書道講座が開講されました。今年も幸田先生を講師に、楷書や行書などを中心にまた様々なプログラムも取り入れ、筆の練習をしていただきます。また新たに1名の申込みがあり、12名でのスタートとなりました。

【笑顔のつどい】

4月28日(金) 今年最初の活動は、ボッチャ大会…… 参加者から用具を借用し、10名が対抗戦でなんと4セット繰り広げられました。活動時間が迫る中、参加者はまだまだ楽しみたいようでしたがゲームオーバー! 久しぶりに体を動かす、熱くなった戦いに満足しました。

◇ 八千代市手話言語等条例発効事業!

八千代市障害者支援課と共に様々な取り組みを始めています。まずは八千代市本庁舎などの窓口へ「手話・要筆対応カード」の設置をお願いし4月末時点で公共機関75カ所へ配布また八千代市のホームページに手話サークル『やつでの会』と『もみじの会』が掲載されました。

◇ 芸術を体験!

八千代市社会福祉協議会からイギリス出身の芸術家ジェイソン・ウィツシャー・ミルズ氏をお招きし、Zoomで自分の絵と物語を作ろう! とお誘いをいただき4月10・13日体験会に参加しました。参加した小野さんから『久々に童心に帰って夢中に絵描きを楽しむことができました』との感想をいただきました。貴重な体験会ありがとうございました……。



◇ 応援申込ありがとうございます!

5月28日(日) 千葉県総合スポーツセンターで開催される千葉県障害者スポーツ大会・陸上競技の応援に多数参加申し込みいただきありがとうございます!

身障相談

毎月末、金曜日を身障相談日と設定し、日々の悩みを共有できる場としています。相談員は障害当事者に担当していただいております。ぜひ活用下さい。
※現在新型コロナウイルスの感染状況から連絡は「きらめき支援センター」へ

わたしの暮らし

八千代で暮らす車イス常用者から生活体験などをシリーズで掲載します。

引越しが決まりました!

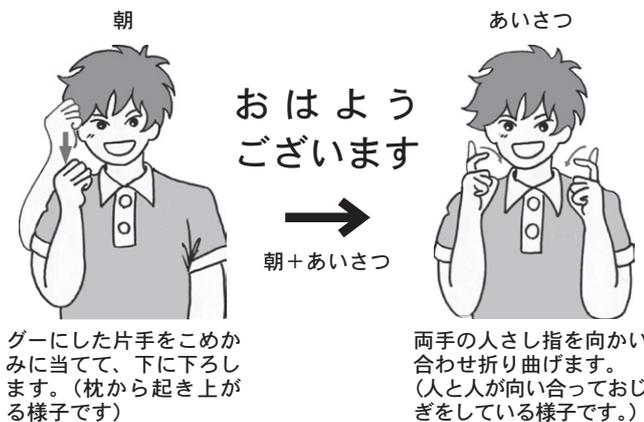
八千代市に引越すことになり、最初に困ったことは住居敷地内に駐車場の物件を探すことでした。最近では新しい物件であれば室内がバリアフリーであることが多いので、なるべく新しい物件に絞りました。次の条件としては移動手段である車が必要。私にとって立体駐車場ではない平面の駐車場を近くに見つけることです。近くに駐車場がなければ悪天候の中、離れた駐車場ま

で移動するのはとても大変になります。そして、もう一つの条件は運転席側のドアを広く開けることができる駐車場を見つけたことです。車イスで乗り降りをする際、平面駐車場の端であれば隣の車を気にせずドアの開閉ができますが隣に大きな車が止まっていたらとても無理です。何とか敷地内の平面駐車場で運転席側のスペースを確保できる物件が見つかりました。これでようやく一人で外出できる条件が整いました。八千代市での新しい生活のスタートです。

手話にふれてみよう!

手話は言語です! あいさつ編

八千代市手話言語・障害者コミュニケーション条例
令和元年9月30日施行



グーにした片手をこめかみに当てて、下に下ろします。(枕から起き上がる様子です)

両手の人さし指を向かい合わせ折り曲げます。(人と人が向い合っておじぎをしている様子です。)

きらめき支援センター
手話通訳設置事業 FAX/TEL 047-485-8822
E-mail: hukusikai.setti@kind.ocn.ne.jp

八千代市身体障害者福祉会 Facebook → 動画を選択 (動画協力: 八千代市聴覚障害者協会)

福祉 あら カルト情報

★令和5年度どつておきの作品展 開催に向けて作品制作をお願い!

毎年12月の『障害者週間』に併せて障害者の作品展を実施しています。令和5年度の開催に向け、皆様方より数多くの作品をお待ちしておりますので是非、出品ください。

対象 作品は障害当事者自らが制作した作品に限ります。

作品 手工芸・写真・絵画・書道など ※会場および開催時期等が決まりましたら改めて掲載します。

★令和5年度千葉「要約筆記」養成講座 「前期」受講生募集!

聴覚障害、聴覚障害者、とりわけ中途失聴・難聴者の生活及び関連する福祉制度や権利擁護、対人援助等についての理解と認識を深めるとともに、難聴者等の多様なニーズに対応できる要約筆記を行うに必要な知識及び技術を習得します。

コース 手書き及びパソコンコース
期間 6月22日～令和6年3月21日

・手書き 毎週木曜18時半～
・パソコン 毎週木曜18時半～
(9～10月のみ火曜)

場所 千葉聴覚障害者センター
受講料 無料(ただしテキスト代等有)
申込み 5月22日(月)必着
問合せ 千葉聴覚障害者センター
TEL 043・308・6373
FAX 043・308・6400

★令和5年度 「絵画」コンテスト働きがたを求めて 作品募集

障害者雇用支援月間(9月1日～30日)における啓発活動の一環として、障害のある方々を対象に「働くこと」をテーマとする「絵画」コンテスト働きがたを求めて「そして未来へ」を実施しています。

企画等 大きさや表現材料などに規定がありませんのでホームページを確認ください。

募集期間 6月15日(木) ※消印有効
問合せ先 (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構

<https://www.jeed.go.jp/disability/activity/contest/>

★音版広報を購読してみませんか!

視覚に障害があり、かつ身体障害者手帳を所持している市内在住の方であればボランティア団体『朗読の会やちよ』様の協力により、音声版で、やちよ広報や本会の機関紙、その他情報が得られます。希望のある方はご連絡ください。

★法人事務局より

令和5年度本法人事業計画書および予算などについては法人ホームページに掲載しています。

本紙の問合せ・情報提供・行事申込は、
身障福祉会・きらめき支援センター
TEL 485・1245
FAX 485・1329 まで



峰嶋編集委員が行く

フットワーク

●「家族の医療ケア児者の支援について」

最近、当事者の母親から「病院に入院することになったのでその間、息子(医療ケア児者)のケアができない、どこか預かってもらえる病院や事業所を探してもらいたい」との相談を受けた。

早速、医療ケア児者対応可能な事業所へ連絡し協力をお願いしたが、医療ケア児者の場合、県内に受け入れ先が少なくこの事業所も満床だとのこと断られてしまった。また、八千代市に地域包括支援拠点ができいたので障害者の緊急時の受け入れについて相談もさせてもらったが現段階で医療ケア児者の対応は難しいとのことだった。

最終的に、日頃からお世話になっている関係機関へ連絡し協力をいただき何とかサービスにつなげることができたが今回、協力いただいた関係機関からの情報や内容や緊急時に相談できる機関など私自身知らないことも多くあった。このケアを受け事前に家族と緊急時の対応の検討、また私自身準備を怠らないよう日々、心がけていきたいと感じた。

5月の行事

《5月》

- 18日 派遣通訳者学習会
 - 21日 千葉県スポーツ大会・水泳
 - 22日 中途失聴者の筆談会
 - 地域生活支援はばたき編集会議
 - 24日 手話奉仕員養成講座後期(毎週)
 - 25日 書道講座
 - チャリティーゴルフ実行委
 - 26日 笑顔のつどい
 - 28日 千葉県スポーツ大会・陸上
 - 30日 第1回理事会
- 《6月》
- 3日 千葉県スポーツ大会・STT
 - 4日 〃 〃 ・ホウリング
 - 5日 輝く未来会
 - 7日 手話奉仕員養成講座後期(毎週)



集後

朝の散歩道で小さな公園を通ることを日課にしている……すると愛犬とともに高齢の男性が草むらをかき分け、缶やペットボトル、タバコの吸殻などを拾っていた。持参していると思われる市のビニール袋に集めていることから近所に住む住民と思われる……電車やバスの中で人に席を譲るとか、道路脇のゴミを拾うとか、なかなか行動に移せない世の中……いざ行動となると躊躇してしまふ……ただ単に「ゴミを「拾う」ではなく、自分自身と向き合うきっかけではないだろうか……。(こたけ)

福祉会実績報告

福祉有償運送事業	4件
ガイドヘルパー	
派遣事業	185件
車イス貸出事業	5件
手話通訳者等派遣事業	58件
(手話48件・要約10件)	
施設見学・実習者受入	2人

この紙ははばたき職業センターで印刷しております
印刷・編集の費用ははばたき職業センターまで